

# 館山塾報



〒101-0061

東京都千代田区三崎町二一八―九二葉第三ビル2F  
 (〇三) 三二六四―八六三八  
 (〇三) 三二六四―八六三六 館山塾  
<http://www.tateyamajuku2.com/>

contents

夏期講習詳細…………… 2面 夏期不受講の諸君…………… 3面  
 前期終了試験…………… 3面 講師のページ…………… 4～8面

お知らせ

保護者面談(中学の部)・個人面談(高校の部)

★保護者面談(中学の部)・個人面談(高校の部)

保護者面談、個人面談を実施します。塾での学習の様子、夏休みの学習の指針について、各科目担当講師(中三及び高校生はチーフ)が個別にアドバイスします。中学生は提出された面談申込書をもとに日時を決定し、七月上旬にお知らせします。また高校生は、チーフと相談して面談日時(個人面談)を決定します。

★個人記録カードの提出について

個人記録カードをまだ提出していない諸君は、面談が受けられませんので、早急に提出して下さい。

★入試情報

高校・大学入試説明会に関するお知らせは、随時お知らせしています。

★中三模擬試験のお知らせ

七月の模試の受付は終了しました。次回は九月以降の模擬試験(進研・駿台)を受付けます。模試の結果は、志望校決定の資料として利用できるほか、推薦入試の資料としても活用できます。詳細は、各回の締切前に教室で配布します。

★高三対象オプション講座について

夏期講習期間中、通常の講習以外に、高三生の希望者を対象とした講座を開設しています。各自の講習日程と組み合わせ、実力アップに是非活用して下さい。

期間A 八月十六日(火)～十九日(金)  
 期間B 八月二十一日(月)～二十四日(水)  
 開設講座一覧

科目	担当	期間
現代文	三輪裕治	期間A
古典	胡子俊英	期間B
世界史	佐治 恵	期間A
日本史	佐治 恵	期間B
数I A	熊倉幹男	期間A
数II B	熊倉幹男	期間B
数I A	松山秀行	期間A
数II B	松山秀行	期間B

詳細は、同封の「オプション講座のお知らせ」(教室で生徒諸君にお渡ししているものと同じものです)をご覧ください。

7月～8月の予定

中高共通

七月十七日(日)…………… 平常講義終了  
 七月十五日(金)～十九日(火)…………… 中学部面談  
 七月二十一日(木)～二十四日(日)  
 七月二十六日(火)～二十九日(金) } 夏期講習期間①  
 七月三十一日(日)～八月三日(水) } 夏期講習期間②  
 八月五日(金)～八日(月)  
 八月九日(火)～十五日(月)…………… 休講期間  
 八月十六日(火)～十九日(金) } 夏期講習期間③  
 八月二十一日(日)～二十四日(水)  
 八月二十五日(木)…………… 前期終了試験  
 八月二十六日(金)…………… 前期終了試験(高三)  
 八月三十一日(水)…………… 平常講義開始

☆補講について

中学生及び高校一・二年生を対象に、講習以外の期間(期間③)に、補講期間を設けています。これは、夏期講習をより一層実り多いものにするための個別指導を行う期間です。詳細は、2頁をご覧ください。

夏期特別講習のお知らせ

一、期間

◎中学生 英・数・国 中三理社◎

※夏期特別講習の期間は、各科目、次の①、②のどちらか一方の八日間になります。

期間①：七月二十一日(木)～二十四日(日)

及び 二十六日(火)～二十九日(金)

期間②：七月三十一日(日)～八月三日(水)

及び 五日(金)～八日(月)

☆中三で理科・社会を選択する場合は、英・数・国とは別の期間で受講することになります。  
(例えば、英数国が期間①なら、理社は期間②)

※中三演習講座

期間③：八月十六日(火)～十九日(金) Bクラス

八月二十一日(日)～二十四日(水) Aクラス

ス

※中学生特別個人指導

期間③：八月十六日(火)～十九日(金)

又は 八月二十一日(日)～二十四日(水)

☆八月二十五日(木)は、期間①と期間②の受講者及び講習不受講者を含む全員を対象に、前期終了試験が実施されます。

◎高校一年生◎

期間②：七月三十一日(日)～八月三日(水)

及び 五日(金)～八日(月)

◎高校二年生◎ 英数国は期間①

期間①：七月二十一日(木)～二十四日(日)

及び 二十六日(火)～二十九日(金)

期間②：七月三十一日(日)～八月三日(水)

及び 五日(金)～八日(月)

期間③：八月十六日(火)～十九日(金)

及び 八月二十一日(日)～二十四日(水)

◎高校一・二年生特別個人指導◎

期間③：八月十六日(火)～十九日(金)

及び 八月二十一日(日)～二十四日(水)

☆八月二十五日(木)は、高一・二生(講習不受講者を含む)全員を対象に、前期終了試験が実施されます。

◎高校三年生◎

期間①：七月二十一日(木)～二十四日(日)

及び 二十六日(火)～二十九日(金)

期間②：七月三十一日(日)～八月三日(水)

及び 五日(金)～八日(月)

期間③：八月十六日(火)～十九日(金)

及び 八月二十一日(日)～二十四日(水)

☆八月二十六日(金)は、高三生(講習不受講者を含む)全員を対象に、前期終了試験が実施されます。科目数の多い諸君は一部を二十五日(木)に実施します。

二、クラス割

☆原則として平常のクラス編成のまま講習は行われますが、時間割の都合上、一部のクラスのみ、講習用クラスに編成されています。  
各自のクラスは、教材とともに配布された講習ク

ラス通知票を参照して下さい。

三、特別個人指導

☆特別個人指導は、夏期講習受講者を対象に、講習以外の期間に個別指導を行うものです。学力に余裕のある諸君には発展演習を、部活動等で欠席して理解不十分な諸君には補習を、と担当講師が塾生一人一人の状況に応じて、講習の成果をより一層確実なものにするためのシステムです。講師の側から強制的に呼び出す場合の他、塾生諸君が自主的に参加して質問や自習を行う時間帯としても活用できます。利用に際しては、予約が必要です。

対象 中学生～高校一・二年生の講習受講者

(不受講者は3頁の『九、講習不受講の諸君』をご覧ください)

科目 英語・数学・国語及び中三の理科・社会

期間 八月十六日(火)～十九日(金)

及び 八月二十一日(日)～二十四日(水)

☆特個の時間・教室等詳細は、講習中に書面で通知します。

☆特個は自主参加する場合も予約が必要です。予約に際しては各担当に直接申し出て下さい。

四、自習室

対象 全員  
場所・時間 掲示でお知らせします。

## 五、講習用教材の配布

☆全学年、六月下旬から各教室で配布しています。十分に準備をした上、講習に臨むようにして下さい。

## 六、前期終了試験

—中学生及び高校一・二年生—

☆八月二十五日(木)に、中学生・高校一・二年生全クラスを対象に前期終了試験を実施します。

☆試験科目は、中学生は英・数・国の三科目(中三のみ理科・社会選択者は、五科目)、高校生は英・数・国の受講科目及び日本史・世界史・物理です(日本史・世界史・物理は高2の日程に合わせて試験を実施します)。

☆中学生で単科受講者は、受講科目のみの試験となります。

☆試験の時間等の詳細は、各自の受験票(八月中旬に郵送)でお知らせします。

☆試験は、既習全範囲の実力試験です。

—高校三年生—

☆八月二十六日(金)に前期終了試験を実施します(受講科目の多い諸君は一部二十五日(木)に実施)。

☆試験科目は各自の受講科目です。物理総合、化学総合及び英語(英文解釈と英作文法)は二講座で一つの試験となります。

☆試験の時間等の詳細は、各自の受験票(後日配布)でお知らせします。

## 七、中三演習講座

☆中三生を対象に、講習とは別に、A・Bそれぞれのクラスに対応した演習講座が四日間、開設されます。

☆演習講座では、入試に即応した演習と解説が行われ、毎日、3科又は5科の成績表が渡されます。

☆各自の受講科目数に応じて、3科又は5科で実施されますので、特別な申し込みは必要ありません。

☆平常理社を受講していない場合でも、演習のみ理社の受講が可能です。受講を希望する場合は、事務までお申し出下さい。

## 八、後期クラス編成

☆前期が終了する八月の時点で、三月からの平常の成績及び総合試験の成績から、新たにクラスを編成します。なかでも、前期終了試験の成績が最も重視されます。

☆前期終了試験は、欠席するとクラス編成に支障をきたしますので、必ず受験して下さい。やむを得ぬ事情で欠席する場合は、理由を明記した欠席届け

を、事務まで提出して下さい。

☆欠席した場合は、必ず、振替受験日に受験することになります。

## 九、講習不受講の諸君

☆講習不受講であっても、既習全範囲の習熟度確認のため、前期終了試験を受験することになります。日時は、後日郵送される受験票で確認して下さい。

☆後期の講義にスムーズに参加するため、講習用の教材を購入して出来る限り自習しておいて下さい。購入は、事務まで申し出下さい。

☆講習期間の特別個人指導は講習受講者を対象としたものですので、不受講者は参加できません。講習不受講の諸君で質問等がある場合は、講習期間に個別指導(有料)の講座を別途設けますので、希望される諸君はお問い合わせ下さい。

なお、個別指導の担当講師は、講習時間割の関係で、ご要望に添えない場合がありますので、予めご了承下さい。

## 十、夏期休講日について

☆八月九日(火)～十五日(月)以外の休講日については、年間カレンダー・塾内掲示板・ホームページなどでご確認下さい。

## ▲▽ 23 年度都立高校入試について ▼▲

熊倉幹男

## (1) 一般入試

23 年度の都立一般入試の受験者は 40,395 人でそのうち不合格者が 11,523 人となり、2 年連続で 1 万人を超えました。実質倍率は 1.40 倍となり、4 年連続 1.4 倍を超え厳しい状況は続いています。しかし、ここ数年で受験倍率が一定になってきましたので、合格可能性は見通しのきくものとなっています。5 教科の入試得点を 700 点に、内申点を 300 点に換算し、計 1000 点満点中の上位から合格する明確な選抜基準ですので、会場テスト等の結果を見ることによって合格可能性がよくわかるようになっていきます。

右の表に館山塾の塾生がおもに受験する都立高校を並べました。ほとんど都立全体の実質倍率の 1.4 倍を超えていますね。それだけ都内全域から受験生が集中する、魅力のある高校が多いということです。これは気を引き締めてかかんなきゃはじき出されそうだと分かったならば、学校の成績をしっかりとって、学力もさらに付けていくよう頑張っていきましょう。

23 年度受験倍率

	一般入試		推薦入試	
	男子	女子	男子	女子
日比谷	2.03	1.64	3.30	4.43
戸山	2.04	1.57	4.33	5.00
西	1.42	1.25	2.87	3.53
青山	1.75	1.84	5.64	9.38
新宿	2.08		4.53	
三田	2.30	2.04	4.53	6.04
竹早	1.56	1.95	3.52	6.66
北園	1.27	1.41	2.15	4.16
文京	1.54	1.73	3.92	5.13

(受験者数÷合格者数)

## (2) 推薦入試

都立第一志望者の約 6 割がチャレンジします。23 年度の倍率は普通科男子で 3.09 倍、女子 3.91 倍です。これでもここ数年下がって来ているのです。内申点が低いとほとんど合格の可能性がないので、推薦は避けて一般入試だけにする受験者が増えてきたためです。それでも青山の女子はすごいですね、9.38 倍です。9 人に 1 人しか受からないのですから、厳しい受験です。

推薦入試は面接と内申点だけで合否を決定する高校が多かったのですが、教育委員会で「学力試験がなく一般入試より楽に入学できるので…」という提議があり、

23 年度の推薦入試において以下の点に留意するようという指示がありました。一部抜粋です。

「推薦に基づく選抜の主旨を踏まえ、面接に小論文又は作文、実技検査をしたり、…」

ということで、今年度から小論文または作文を実施することになった高校が、

日比谷、小山台、青山、両国、富士、新宿

をはじめ 10 校あり、全部で 38 校が小論文・作文を実施したことになります。(上記以外でおもだった実施校は、戸山、八王子東、立川、武蔵、国立、国際、西、北園、白鷗、国分寺です。)

右上の表のように調査書点の配点が大きいですが、新宿高校の先生の話によりますと、

「調査書点ではあまり差がつかないですね。面接もみなさんよく訓練されていますし、差がつくのは配点 180 点の作文です。今年はオール 5 の人で落ちた人が 10 名います。」

青山高校の先生も同様のことをおっしゃっていました。

「差が付いたのは小論文でした。合格基準ですか？あまり言いたくないですが、8 割は超えないといけないですね。」

推薦入試の配点

	調査書点	面接点	小論文作文点
日比谷	450	170	100
戸山	450	80	240
西	540	120	240
青山	600	150	300
新宿	720	180	180

[4 頁から]

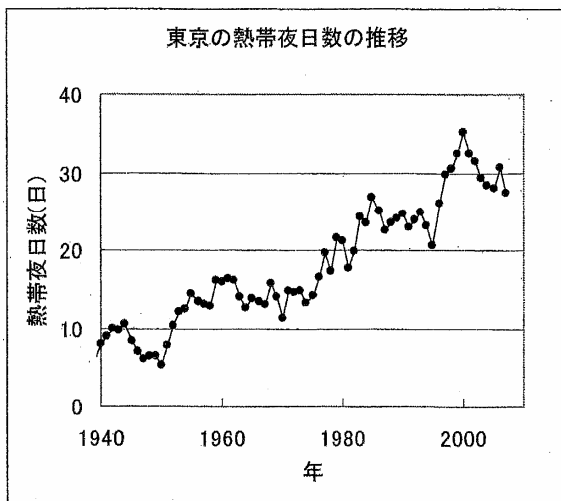
ということですから、推薦入試も内申だけではなく、小論文・作文に対応する能力を求められるようになっていきます。推薦入試の受験を考えている人はしっかり対策をたてましょう。

(3) 小論文の問題例

青山高校が見本として作成し、教育委員会に提出、承認された問題です。社会的な問題と理科的な問題の 2 問あり制限時間は 50 分です。この問題はのうち理科的な問題です。

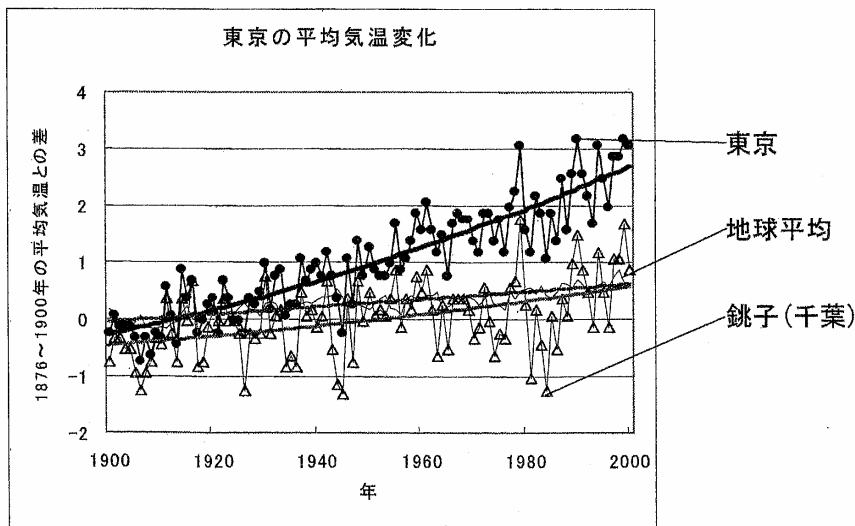
2 次の文章を読み、次ページの間に答えなさい。

東京の夏は 30 年前と比べると暑くなり、熱帯夜が増えています (グラフ 1)。



前後 2 年間の日数を平均した値で示してある 資料：気象庁

グラフ 1



太線は、気温変化の傾向を示している 資料：気象庁

グラフ 2

グラフ 2 からわかるように地球全体の温度変化よりも、東京の気温上昇の傾向は急激です。都市部とその周辺部を比較すると都市部の平均気温が高くなることは世界の他の都市でも多くみられる現象です。東京では 100 年間に年間平均気温が 3℃上昇したという報告もあります。

東京で熱帯夜が増えた原因にはいろいろなものが考えられますが、その 1 つに都市化があげられています。

[5 頁から]

そこで高校 1 年生の A 君は、次のような実験をして、熱帯夜について考えてみました。次の図のような 50cm×50cm の芝生とコンクリートを屋上にならべて直射日光下に置き、表面と内部の温度の変化を調べました。温度計は、次図の点で示される位置に設置しました。

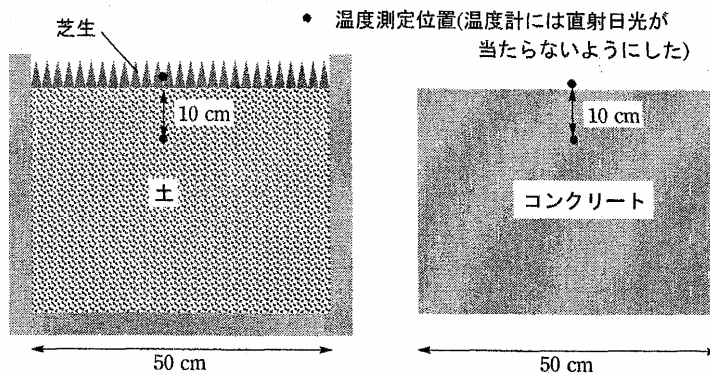
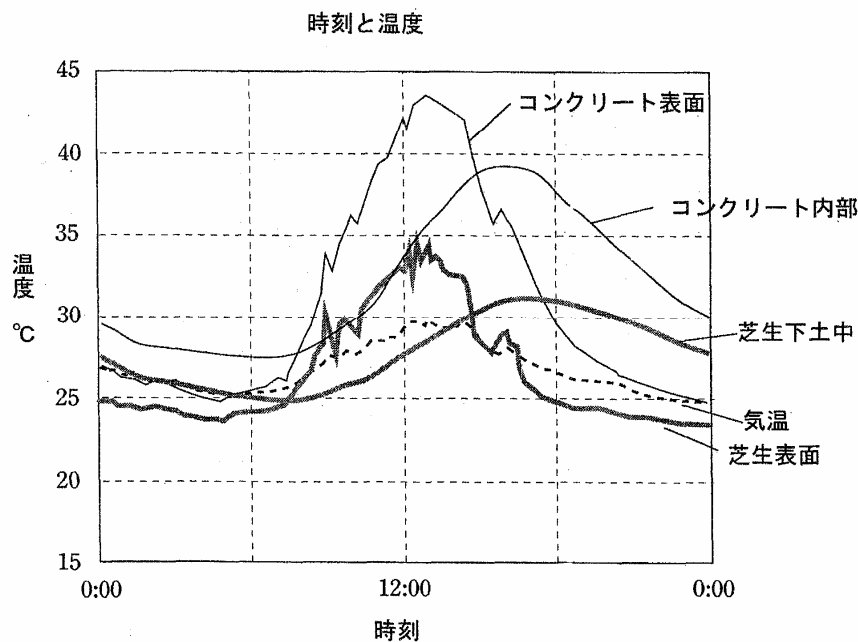


図 芝生とコンクリートの温度測定

次のグラフ 3 は、8 月下旬の晴れた日に 24 時間測定したときの結果です。

実験結果 8 月 29 日 (日) 天気 晴 青山高校屋上



グラフ 3

問

- (1) A 君は熱帯夜について、この実験で何を調べようとしていたのかを書きなさい。
- (2) また、この実験結果から、どのようなことがいえるのかを書きなさい。なお、解答は、解答欄におさまるように書きなさい。

以上です。解答欄は(1)が 1 行、(2)が 5～6 行程度です。内容はわかりやすいものですが、答え方が難しいのではないのでしょうか。グラフ 3 から何を読みとるかが一番のポイントです。ぜひ、一生懸命に取り組んでみて下さい。

レポート用紙に解答して提出頂ければ、採点、添削の上返却します。中学生だけでなく、高校生、または保護者の方も歓迎します。この機会にぜひ入試問題を経験してみましょう。提出期限は特にありません。

## ▲▽ アフガニスタン随想 ▽▲

あおうだ  
粟生田明子

“オサマ・ビン・ラディン、殺害さる”

5月2日、そのニュースが飛び込んできたとき私が手にしていたのは、その前々日、世界史の授業で佐治先生にいただいた中央アジア史の参考資料。(注:粟生田は現在、館山塾で世界史Bを受講中)「食の十字路アフガニスタン」というタイトルで、アフガン映画の話題や、アフガンとは因縁のビン・ラディンに絡めて中央アジアの地理・食文化の紹介が載っている、興味深い読み物である。そのプリントを読み、アフガンやビン・ラディンに思いを馳せていた時に、何というタイミング。(佐治先生は予知能力をお持ちだとしか思えない。世界史の授業を受けていると、このようなシンクロがよくある。)

それにしても、ビン・ラディンがパキスタンに潜伏していたとは……。いかなる理由にせよ、よその国に勝手に特殊部隊を送り込んで人を殺すアメリカのやり方にも呆れるが、今後のアフガン情勢は、パキスタンも巻き込んでますます混乱するだろうな……と、気が塞いだ。

—— 振り返れば、私はこれまで、アフガンに何かと縁があった人間である。

古い話で恐縮だが、80年代半ば、ビン・ラディンがムジャヒディン(イスラム聖戦士)を組織してアフガンに侵攻したソ連軍と戦っていた頃、私はパキスタンの首都イスラマバードでウルドゥー語を学んでいた。当時のパキスタンには多くのアフガン難民がなだれこんでいて、私の学校にもある日、アフガン難民がやってきた。マルジアという名前のその少女は、日常的にはペルシア語を話す部族で、優秀な学生だった。ペルシア語が多少話せて年齢も近かった私は彼女と仲良くなり、家にも招待してもらった。難民とはいえ、イスラマバードで家を借りて住み、娘を学校にやって勉強させるというのは、相当裕福で上流の家柄だったのであろう。マルジアの家には両親と、おばあちゃんと、幼い兄弟姉妹が数人いた。床の絨毯に座ってアフガン風のマトンの煮込みを御馳走になりながら、家族の逃避行の話聞いた。ソ連軍の爆撃に遭いながら、命からがらカイバル峠を越えてきたのだという。多くの親戚や友人が亡くなったり行方不明になったと涙ぐむおばあちゃん。マルジア自身も、「医師を目指して勉強していたのに、こんなことになってしまって……」と黒く大きな瞳を潤ませる。パキスタンでウルドゥー語なんか習ってる場合じゃないのに、屈辱だ、早く祖国に帰りたい、と泣くマルジアにアフガン人の苦境と誇りの高さを見る思いだった。

また、イスラマバードに住んでいた間、私が一番好きだった料理はアフガン料理だった。インドやパキスタンの料理は一般的に、南部が一番強烈な辛さで、北に行くにつれて味がマイルドになると言われるが、イスラマバードあたりでも、やはり毎日食べ続けるとその攻撃的な辛さにげんなりしてくる。かといって、中華料理店(中国人はどこでも元気に商売)の油っぽい豚肉抜き中華(イスラム圏ゆえ豚肉食禁止)は食べたくない。その点、アフガン料理は野菜と乳製品を多用し、味付けもまろやかで、私にとってはホッとする味だった。お気に入りの店は下宿からSUZUKI(スズキ自動車製の乗り合い自動車)を乗り継がないと行けないバーザールの裏にあったが、大好きだったオクラの煮込みとマントー(饅頭、中華料理の「花巻」に近い)が食べたくなるとSUZUKIに飛び乗った。経営者は若い難民の兄弟だったが、料理を褒めると姿勢を正し、右手を胸に当て、大真面目な顔で恭しく頭を下げる姿に、何とも言えぬ高潔な印象を受けた。「あなたに神の御加護を。」店を出る時はアラビア語で挨拶を交わした。

関連略地図



## 〔7 頁から〕

さて、パキスタンから帰国した私が次に外国に出たのは 97 年。夫・娘とともにロシアで数年間暮らしたのだが、なんとその時にも、アフガン人との付き合いがあった。わが家はモスクワ郊外の外国人専用 17 階建てアパートの 14 階だったが、その上の 15 階の住人がアフガン人一家だったのである。最初は、なんでアフガン人がこんなところに？と驚いたが(あちらも、なんでこの日本人はアラビア文字が読めるのだ？と驚いていた)、よくよく話を聞いてみると、ソ連侵攻下に大使館員としてモスクワに派遣されたものの、その後ソ連がアフガンから撤退し政体も変わって、家族ぐるみ帰国できなくなってしまったのだという。大変気の毒なことだが、ありそうな話である。ロシア政府も、多少はその辺りの責任を感じて住居を提供し続けていたのかもしれない。因みに、このアフガン人一家は日本の「団子」が大好きで(やっぱり饅頭系がいいのね)、日本人家庭から「団子の粉」「上新粉」などを分けて貰っては喜んでいて。(私は日本語で書かれた「団子の作り方」をロシア語やパシュトゥー語に訳すのを頼まれたりした。)

なお、アフガンに因む話のついでに。モスクワでロシア人の友人から譲り受けたわが家の愛犬は血筋正しい「アフガンハウンド」である。アフガンハウンドは数千年の歴史を持つ最古の犬種のひとつで、伝説ではノアの箱舟に乗った犬、とされている。元来、中央アジアの急峻な山岳を獲物を追って馬よりも速く駆ける狩猟犬であり、長い毛はお洒落ではなく、山の寒さから身を守る為のもの。アフガンハウンドの走る姿を見ると、そのDNAには、はるか昔の中央アジアの山岳を疾駆した先祖の記憶が確かに刻まれているのを感じる。

——— そして現在。

わが家のアフガンハウンドは 13 歳でまだまだ元気だが、マルジアたちやモスクワのアフガンの元大使館員たちが今どこでどうしているかはわからない。ただ、いずれにせよ、アフガンの情勢が良くなっていないのは確かだ。ソ連軍が撤退した後も、タリバン政権、アル・カイダの暗躍、同時多発テロ以後の米軍の空爆・・・といろいろあって、国土は荒廃し、潤っているのは麻薬商人ばかり。アフガンは今や GPI(世界平和度指数)が世界 153 カ国中下から 4 番目、最も平均寿命の短い国でもある。どうしてこうも落ち着かないのか。

ユーラシアのど真ん中、民族と文明の十字路。昔から落ち着かない地域なんだと言えばそれまでだが、近現代における混乱の責任の大部分は、大英帝国、帝政ロシア→ソビエト帝国、アメリカ帝国という先進的な軍事大国が次々と干渉したことにある。アフガン人(パシュトゥーン人)はもともと、現在パキスタン領となっているスレイマン山脈の尾根の両側に居た山岳遊牧民であり、一族ごとに集落を作って散住し、緩やかな氏族連合を結んでいた。「アフガン」とはペルシア語で「山の民」という意味である。)そこに 19 世紀の大英帝国が、スレイマン山脈の西はアフガン、東はパキスタン、という自分勝手な国境線を引いちゃった悲劇<sup>(注)</sup>。昔ながらの氏族社会で誇り高く自由に生きる山岳遊牧民が、近代的な「国家」「国民」「国境」などという枠におさまるわけがない。いろいろ考えているうちに、現在のアフガンやパキスタンという「国家」が落ち着かないのは、アフガンやパキスタンという「国家」があるからこそだ、という結論に突き当たってしまう皮肉！

でも、考えることはやめない。縁も恩もあるアフガンやパキスタンに対し、今日本にいる私に何が出来るわけでもないが、彼の地と、そこにゆかりの人々に思いを馳せ、世界史や地理をしっかり学び、絶えず世界を考えることが、彼の地の友人・恩人に対する私の誠意だ。(・・・というわけで、今後も世界史受講、がんばります。高校生諸君は粟生田に負けないように。)

(注)この辺の事情を説明すると長くなりますが、京大の杉山正明先生の『逆説のユーラシア史』などに詳しいです。



粟生田家のアフガンハウンド